

# 小金高校剣道部(昇竜館)

NEW UP 2012. 3. 22

## まほろば剣道錬成会(3月20日)



神奈川県大和市総合体育館にて開催されました錬成大会に参加させていただきました。

「まほろば」って何だろう・・・？

「大和」「万葉集」「倭」・・・

主催校である大和東高校の顧問の先生と本校の顧問の先生は大学時代からすごく親しい間柄で交流が続いているそうです。

さて試合のほうは四校リーグが③セットさせていただきました。

顧問の先生はこういった錬成会では静観しているタイプです。

今日の会話は

「おはようございます。」

「受け付けは済んだのか？」

「受け付けは済んでいます。」

「参加費は？」

「済んでいます。」

「じゃ、しっかりやっっていこう・・・」のみです。

自分本人、自分達で考えながら進めていきます。

観点は、普段の稽古の中での話を参考にしていきます。

「この錬成会は、いろいろなタイプの学校とランダムに当たります・・・その中で自分の対応力を研鑽する。そして時間とともに上げていくように・・・」

「久々の練習試合なので往きの電車の中でイメージを創っていきました。」

「良くなっていたと実感しています。」

「最初が肝心と言われているので課題は残ります。」

## 祝三段合格！

「まほろば錬成会」の20日に松戸地区の剣道昇段審査が実施され小金高校剣道部女子2名が受検し合格をいただきました。

特に二次審査の剣道形審査では「いい形だったよ」と褒めてもらいました。

顧問の先生は

「おめでとう！」

「褒めてもらえるレベルで受かるというのがいいね」と話されました。

## 祝47期 卒業おめでとうございます！

強く、そして格好良かった先輩方が卒業されました。

「おめでとうございます」

先輩方の言葉を借りれば

「強かった先輩方に負けたくないと頑張りました。」

「個性派揃いの五人組で笑っちゃうこと沢山・・・この道場でみんなと多くの時間を過ごしたんだよね・・・」



「ちょっと、素敵仲間たち・・・」

## 習志野高校へ出稽古

28日（土）早朝より防具を担ぎ習志野高校へ稽古に出かけました。

学校に到着するとグラウンドではサッカー大会が開催され、また吹奏楽部が各教室に分かれて練習をしているので相変わらずの賑わいです。更衣に使わせていただいた教室は机が整然と並んでいるなど校風というものを感じました。

9時～11時まで基本練習が進んでいきます。

メン打ちなどのバリエーションで内容が変化していきますが、小金の練習をやっていることで対応できています。

地稽古では先生方に積極的に懸っていくことができました。

顧問の先生が高校時代からお世話になっているというO先生がみえていたので

「絶対にお願ひしなくては・・・」ということで素早くメンを着けました。

早いテンポでポンポン打ってくる稽古のつけ方や面白く、分り易いアドバイス等顧問の先生が多大な影響を受けているのだなということを感じました。

## 千葉県北部地区高校剣道大会

### 2年男子の部 ベスト8!(参加111名 敢闘賞)

4回戦 第五会場にて行われた第62試合。

本校選手が昨年度一年生の部での優勝者に「メン」を二度、三度浴びせています。

旗は上がりませんが相手選手が困っているのは明らかです。

試合場がただならぬ雰囲気になっていました。

20分を超える戦いの最後は「メン!」でした。

「試合前は優勝候補との対戦ということで少し緊張しました。」

「最後のメンは嬉しかったです。」



※ 三回戦でのメンです。残念ながら四回戦のメンはバッテリー切れでシューティングできませんでした。

### 1年男子の部 ベスト16

1、2回戦は怪しげだった戦いも3回戦では凄いメンを放ちながら試合を進めていき最後は出コテで勝ち上がりました。

4回戦では最後には速攻対応でミスしたものの素晴らしい戦いぶりです。

「今日は、今までとは少し違う形で臨めました。自分の成長を僅かでも感じる事ができて嬉しかったです。」



※ 三回戦で出小手を打った後です。気魄が漲っていました。

## 女子の部

アリーナに響き渡る気合で攻め打ち込む。  
構えて押し…機会を探りながら打ち込む…。  
技を的確に掛けていきます。

「合格！合格！」

「もう少しのところに来ましたねえ…」

「小金高校にとって嬉しい一日となりました。」



※ 上段に返しメン、出端メン、出小手を振り切る 仕掛メン！と練習の成果が発揮されています。

## 円心塾道場の先輩方が大集合

寒い土曜日の朝。

道場の靴箱に沢山の靴が収まっています。

道場に入って吃驚しました東葛飾高校のみなさんが来校していました。

9時には先生の太鼓で基本稽古が始まりました。

I先生が奈良県から稽古に来てくれると聞いていましたがこういうことだとは露知らず…  
。その後も柏の葉高校の方や初めての先生方や小中学生も来場されて大賑わいになりま

した。(噂に聞くIm先生、S先生、K先生、T先生だったのです・・・)  
9時30分から小金，東葛飾高校の生徒とKidsが入り乱れて練習試合。

10時30分休憩

10時45分から稽古。

柏の葉高校の生徒さんがI先生に一番に懸りました。

11時45分あたりでKidsと高校生が終了。

先生方の稽古。

「一番に懸りたかったのですが・・・駄目でした・・・」

「凄い攻防、打ち合いがありました」

「凄い気迫の応酬。私も先生とこんな稽古をしたい・・・」

「先生と仕草がよく似ていますね・・・」

12時35分終了。

「みなさん激しいのに楽しそう・・・」

終礼の時に質問コーナーがありました。

先生方は聞かれたことに即答します。

「姿勢」「読書」「継続」「運」「尊重」「積極性」「自信」

「すっきり心に入ってくる言葉でした」

「女性としても格好いいです・・・憧れちゃいます・・・」

## 松戸稽古会、稽古初め 平成24年1月15日 於：松戸市武道館

今回は、体育館ではなく剣道場での稽古会。

この道場で稽古するのは、初めてだった。

この道場は、私には新鮮だった。





昨年暮れの稽古納めの時に

「帰りに道場を見ていきなよ」と先生が言われた。

「僕が、高校時代にできた道場だよ。それまでは宮前町にあった松戸警察署道場そして松戸二中体育館と移りながら稽古したものです。」

そして歴史を知っていると、何を見ても面白くなるな、と思った。

今日は小学生達が私達のまえに稽古が終わり、私達は20人程の先生方と地稽古をつけてもらう。

今日の稽古の終わりの挨拶で

岩立先生が

「小金の生徒で私が打った後に、剣先を見て抜けると言ったら、すぐに実行した。このように稽古すれば癖が直る」とおっしゃっていました。

自分のことでした。

今日一番嬉しかったです！

すぐに面をつけ先生方のもとへみんな走っていった。

私は鶴見先生にお願いしアドバイスもいただいた。「たまに竹刀を振り上げたとき曲がるから注意してみて」と。

次に

「岩立先生と今日は必ず稽古したい！」

と以前から決めていたので岩立先生が胴を着けたときに先生の前？辺りに行く。

しかしすでに高森先輩、雨貝先輩がいて自分は三番目。でも1、2、3番とも小金がならんだのでなんだか嬉しかった。

岩立先生からはたくさんアドバイスをいただいた。

基本打ちをさせていただき、

「メンは抜けるとき竹刀の先を目で追うこと。」

「コテは自分の右足を打つときに相手の右足のほうに動かして打つ」

「ドウは綺麗に、前じゃなくて横」

などとやる前とやったあと両方アドバイスをいただいた。

全体として私は打った後、沈んでしまうことについてもアドバイスをいただいた。

「打ったら背伸びをするようなイメージで」と。

次に駒崎先生が山室先生と稽古をお願いしたときに構えの強さの話をしていたので私も自分で体感したかったので山室先生をお願いした。

すると構えが強いけど、力が入っているわけではなく不思議な感じなのに打つスピードがとても速くて思わずにやけてしまいそうになった。

終わった後「小金か。頑張れ！ついていけよ」などと言われた。

最後に柳田先生と稽古をさせていただいた。とても優しく微笑んで教えてくれる先生だった。メンの細かいところまで指摘されたが(左手の締め、構えの肘など)最後のほうに出せたメンは自分でもわかるほどいいものだったと思う。

そこで稽古終了。

たくさん先生方がいてもっといろいろな先生とも稽古をお願いしたかった。一時間はあっという間だった。

最後の岩立先生の言葉では

「ただ、どんな手を使ってでも勝ちたい…は、よくない。」

「勝ちたいと思っても剣道はよくなる…」

「綺麗な姿勢で。姿勢と言う字は姿の勢い、綺麗な姿に気をすーっと入れて。」

「剣道は誰でも癖がある。それを毎日気にしてなおす。」

岩立先生は、御自身の癖の克服を七年かけた。

試合に臨む気構え、そして健康の大切さなどたくさんのお話が聞けた。

「君たちの先生もここで稽古をして育っていったんだよ」

真に充実した経験をさせていただきました。

ありがとうございました。

## 12月26日～28日

### 「葉の花剣道錬成会」

北は青森県から西は大阪府の学校まで80校ほどの学校が市原市に集まって練習試合を繰り返す合宿錬成会に参加してきました。

青森県の学校さんが「春みたい…！」と感嘆していました。

リーグ戦を昼間繰り返しますと夕刻から各校のキャプテンが試合志望を相手校に自ら申し込んで試合を行う「申し合い」形式になります。

「安房高校に申し込みました。」

「AとBとどちらが善いですか？」

と問われて思い切って

「Aをお願いします！」と言っちゃいました。

「申し合いで先輩が試合を頼みに行っているのを遠くから見ながら自分もドキドキ緊張しまくっていました。断られるんじゃないか？嫌な顔をされるんじゃないか？」

先輩が先鋒から中堅までは「瞬殺」でしたが…。

三日間も一緒に生活していると各校の「仲間意識」や「誇り」と共に参加校同士の「連帯感」みたいなものも感じました。

「心身の疲れなどからテンパッているからか試合内容はハードになっていく中でも仲間意識みたいなものを感じる不思議な気持ちを体験しました」

「朝稽古では、先生方の稽古も拝見しました。凄いすごい！！」

「試合後には笑顔を見せながら試合に取り組む小金校生の試合ノートを覗いたら5-0負けを繰り返しているんですよ…きっと内容に充実感を持っているんでしょうね…凄いよなあ…」

「試合場に顔が入り込むほどのめり込んで県上位校同士のバトルを見ているんですよ…

危ないから・・・ハハハ！」

充実した冬期合宿でした。

「この四月から初めて全員で参加したイベントでした。それが一番嬉しかった・・・これから、これから・・・」

## 12月18日

### 「松戸市剣道連盟稽古納め会」

於) 松戸市民体育館

9時集合。

9時30分 瀬川先生の指揮により市内の中学生と高校生が二人一組になって基本稽古。

休憩の後、

10時45分 各道場、各学校の先生方30数名と高校上級生が元に立って地稽古。

岩立範士、山田先生、染谷先生、山室先生、斉藤先生をはじめ錚々たる先生方に稽古をつけていただきました。

ウチの先生も先生方に懸っていく、

攻め合いで退り、打たれている。

そんな姿を見ながら「私たちも頑張るぞ！」

稽古後、

「メン打ちは、大きく！」

「〇〇！ 中々いいぞ！」

「何本か相打ちになったな・・・」

「楽しみだな・・・」

沢山の先生方に褒めていただきました。

ウチの先生は言います

「世間に出て、『小金』って呼ばれて・・・名前呼ばれて・・・嬉しい・・・よね」

## 平成23年度 千葉県高等学校新人剣道大会

11月26日(土) 船橋アリーナ

1回戦 小金 vs 千城台 (3-1)

先鋒戦：(南流山中 出身 2年) 立ち上がり、大きく振りかぶった相手に動揺することなくコテを決める





次鋒戦：(新松戸南中 出身) メンを中心に試合を組み立てる。まだまだスピードと煽りの癖が出るもののしっかり仕留める。



副将戦：(新松戸南中 出身) 豪快なメンを打ち放ちながら出コテ二本を決める。



#### 2回戦 小金 vs 志學館 (1-1本数勝ち)

残念ながら映像はありません。が、いつもVIDEOを撮ってくれる方に感謝しています。この試合は、焦って打ち懸かって行ってしまい・・・逃げ切られてしまったことに悔いが残ります。もっともっと冷静に相手を見定めながら試合展開していくことが大切だなと思いました。

## 平成23年度 千葉県高等学校新人女子剣道大会

平成23年11月27日(日) 船橋アリーナ

#### 1回戦 小金 vs 千葉女子

先鋒戦：(湖北中出身 2年生) 開始直後の「奇襲速攻メン」に反応して「返しドウ！」



次鋒戦：(光が丘中出身 1年生)

機会よく技を繰り出すも「軽い」(見事に切った小手は主審の陰で没ショット・・・)



## 2回戦 小金 vs 長生

先鋒戦：(豊四季中出身 1年生)

小柄ながら積極的に打って出る・・・「コテ！」(旗は挙がらず・・・)



中堅戦：(鎌ヶ谷中出身 1年生)

上段選手を相手に奮闘する。相手構えを下ろしたところを逃さずメンに打ち込む！！



引きメンを放つ！(シード校相手に善戦する選手を見守るニコヤカなベンチ)



副将戦：(新松戸南中出身 2年生) 端正な構えからジリジリと攻め、機会よくメンに出るも「軽い」  
終盤に起死回生の「諸手突き」を放ったが・・・。



大将戦：(剣幸会出身 2年生) 団体戦の勝負は決した戦いとなったが相手大将は試合開始早々猛然と攻撃に出てくるのを本校選手構え崩さず捌いて対応し相手の拍子を掴んだところでコテ相コテ・メンを豪快に放つ。そして、その流れの中からメンに機会良く仕掛けるなど攻勢な試合っぷりを披露。  
「全選手天晴れな試合を披露してくれました。」  
「みなさんに褒められて嬉しかったです。(知らない先生からも褒められました・・・)」

## 10月10日(月)体育の日:流山市民剣道大会

(男子個人戦)

優勝：(鰯ヶ崎支部所属)、準優勝：(東支部所属) を本校生徒が獲得しました。

<選手コメント>

「今日はいつになく絶好調でした。この調子を継続できるように頑張ります！」

「内容的には悪くありませんでした。」

『勝って褒められ、負けて惜まれる』

「これが実際に今日起こりました！」

## 10月9日(日)松戸市民剣道大会

(男子個人戦)

三回戦進出2名。

「負けてしまいましたが自分の持ち味が出たので内容的に良かったと思います」  
(女子個人戦)

二回戦進出2名。

「綺麗なメンが二試合とも出ていました。格好良いなと思いました。」

## 10月2日(日)千葉県北部地区高校剣道大会

(男子の部) 小金 5-0 柏南 (女子の部) 小金 0-3 東葛飾  
0-4 沼南 4-0 佐倉  
4-0 国府台

約一ヶ月ぶりの大会参加となりました。

残念ながら男女ともに予選リーグ敗退でした。

男子は、競っていった中盤戦で手を間違ってしまったたり基本戦術が不安な選手もみられました。

女子は、押し気味に試合を展開し勝利を描ける状況にも関わらず一瞬のミスで勝ち点を失っていく状況で誠にもったいない結果になりました。

男女ともに「自信」の持ち方を学びましょう。「これから、これから」です。

(生徒のコメント)

「重要な☆を落としてチームに迷惑をかけたけれども、今まで出来なかったことが試合にでてきて嬉しい面もあった」

「安定した内容で選手として安心してみていただける」

「もっともっと稽古や試合がたくなってきた」

## 8月27日(土)キッコーマン剣道大会

(男子の部) 小金 1-2 春日部工業(埼玉)

(女子の部) 小金 3-1 柏中央(千葉) 一回戦シード  
1-3 市立川口(埼玉)

男女ともに夏休み最後の試合を意識できていたと思います。

特に、監督先生が不在の中での稽古を一週間行ってきただけに悪い内容は避けたかったです。

先生「男子も落ち着いてきた。相手に的確な技が出るようになってきた。上段への片手突きは採って貰いたかったよね」

女生「あと一つは勝てたのでは…」という思いもありましたが

先生「良いんじゃない…相手は結構、試合巧者だよ…」

「内容は…堅実性が上がっているよ」

「参加校は少ないけれど地域還元の歴史があるんだよ」

「昔は、商品や参加賞は醤油やパンだったんだよ…」

## 8月19日(金)若潮旗剣道大会錬成会

橘高校（神奈川）、東海大仰星（大阪）、高山西（岐阜）、小山（栃木）、大多喜（千葉）、安房（千葉）、茗溪学園（茨城）の7校と練習試合をさせていただきました。

先生「試合前、随分と緊張していたね。静止画状態だったもの…」

生徒「始まったら必死で…」

先生「中々、頑張っていたよ…、喰らいついていっていたもの…試合場の空気が変わるの感じるでしょ、それが楽しいよね…」

## 8月4～5日越谷錬成会及び「しらこぼと杯高校剣道大会」

男子1回戦 小金 1－3 花咲徳栄

（評）前二人が一本負けを喫してしまい中堅は積極的に反撃するものの返り討ちに遭いました。副将は立ち上がり見事な一本を先取るものの中盤に取り返されて引き分け。「何でコテ中心に潜っちゃうかなあ…それじゃあ、相手のイメージ通りじゃない？」と先生に指摘されました。

大将は見事なメンを決めて一本勝ち。

「もったいないねえ…」

女子1回戦 小金 2－1 所沢西

2回戦 1－0 越谷北

3回戦 1－3 桜水の牧

（評）接戦を鎬ながら三回戦まで勝ち上がっていきました。

安房や木更津で得たものが「とんとんのお相手」（監督）に応えることが出来ました。三回戦の前に二試合とも負けていないに次鋒が交代になりました。

「絶対に頑張らなくちゃ」と思って試合しました。

「ちょっと悔しかったけど『負けるな！』って応援できましたよ」

「三回戦は何で打ち合いになってしまったんだろう？」と先生に問われました。

今日は、いつも地稽古をつけてくれる副顧問の先生が監督です。

「次は三回戦だぞお…凄いなあ…頑張っちゃおうなあ…」みたいな乗りです。

腕組んで座っているんですが惜しい技が出ると嬉しそうな表情がイイ感じです。

## 8月1～2日木更津剣道錬成会

女子部が参加しました。

木更津総合、東京学館浦安、鉾田一、桜美林、拓大紅陵、日大三島他素晴らしい学校と試合をさせていただきました。

ほとんど打った試合がないのですが0－5にもなりません。

引き分けが一つ二つ入ります。



先生が「これをなんと思う？」と問われました。

二日目は、分相応の高校との試合になりましたが何か掴めていることが実感できる内容になってきました。

参加校の皆さん、先生方ありがとうございました。

## 暑中も後半の稽古に入りました。

期末考査が終了後の成績処理週間には先生方の会議などの関係もあった昼時間に60分から90分程度の基本稽古、打ち込み稽古を繰り返しました。

夏季休業に入ると予定を変更して

8:30～10:00 男子指導稽古、打ち込み稽古。

10:00～12:00 女子基本稽古、指導稽古、打ち込み稽古

を御二方の先生に懸かる形で実施しました。

24日（日）二年生男子三名の**三段昇段**が認められました。

25日（月）安房高校にて合同稽古及び練習試合。

9:30～14:00 体操、基本打ち、連続技、試合練習、地稽古、足捌き、柔軟体操  
小一時間で休憩が入ります。

県大会出場が決まった中学校も参加しているので大変な人数です。

リズムに乗った練習が次から次へと続きます。

安房高校さんの威勢の良い掛け声に乗って何とかこなしていけますね。

「中学校時代に試合をしたことがあるよね」と声を掛けてもらい「私をも覚えていてくれているんだ」と嬉しかったです。

女子試合は審判の先輩方もハンデ戦のように仕切ってくれているのか中学生や私たちにもポイントをくれるので馴染んでいくというか引き上げてもらえてるのが解ります。

男子試合は一瞬で取られていきます。一分近く進めば御の字状態。そこから一本取れたり引き分けが入ってきたりしてきましたが…又、引き離されます。

「自分らしさ」と「真似る」ことを模索しながらの試合は大きな課題を頂きました。

## 平成23年度 千葉県高等学校総合体育大会剣道大会



（左）vs 学館浦安：先鋒戦

動きの速い攻撃を信条とする相手にそれをも上回る「先々」で仕掛けながら、「返ド」に

（中）vs 学館浦安：中堅戦

長身を利して五分に攻め合い、技を掛け合う。「引き分けかな？」という展開に豪快な「引きメン」を決める！



「決めて開始線に戻るときに観覧席を見上げました。応援に来てくれた今年卒業の先輩方に『見てもらえましたか！？』って…。

(右) vs 学館浦安：大将戦

2－2の本数不利 の状況での大将戦。開始と同時に猛然と攻め立てメンに出ると相手のコテをもろともせず決めました！ 「ここ一番でメンに出られて嬉しかった」

## 2011. 6. 18

成田市体育館

<男子の部>

一回戦 小金高校 2－1 若松高校

開会式後の第一試合でした。

先鋒戦：両校取りたいところ・・・相手も中々、残念ながら落とす。

次鋒戦：取りに行っているのだが交互攻撃の展開になってしまい引き分けで終える。

中堅戦：相手は上段の構えを採り個人戦にも出場するポイントゲッター。本校選手は果敢に攻め続け受けまわらず集中が切れずに引き分けとする。(見事)

副将戦：気力十分にて落ち着きもあり機会良く「メン！」を先取！中盤過ぎに再び「メン！」本数リード。

大将戦：立ち上がりこそ迷いが見えたが中盤から長身を利したメンが炸裂し勝利を決定！

二回戦 0－4 習志野

監督さんが試合、審判、監督と続くためにアドバイスも指示もなく強豪習志野戦に立ち向かう。先鋒戦の：開始早々コテが炸裂！残念ながら旗は挙がらないもののインパクトは与えた。？強豪校にしては力攻めに走らず機会を狙ってくる試合展開になった。結果的に0－4ではあるが通用する部分と不足の部分を学ぶことができたと思う。1，2年生チームなので今後が楽しみです。

<女子の部>

一回戦 小金高校 3－0 国府台

小金高校らしい姿勢良く機会良くでスタート。相手校も北部大会以上の気力で向かってきました。試合後、監督さんから

「もっと声をだせ！インパクトが薄い」

「みんなが見ている。いつ最後になる分からない。自分で決めたことを必死にやるんだ！」との言葉でした。

二回戦 2－2 東京学館浦安

一回戦を観ていました。中学時代の好選手を揃えたチーム「速い！上手い！」が印象です。翻弄されてしまう不安がわきました。

しかし、私たちはこれで最後！私たちは私たちの剣道を、自分の剣道に徹するのみと決心しました。

先鋒戦：相手以上にアイデア豊富に攻めて技を繰り出し返しドウがスパーン！と場内が

一気に盛り上がりました。

次鋒戦：間合いの攻防から連続、変化等でたたみ掛けられて二本負けですが美しい・・・。

中堅戦：長身の本校主将。上等に構え攻めます。相手は中学県個人チャンプで試合巧者。拍子を変えて切り崩しに来ますが動じません。しかし技の繰り出しどころを上手くかわされます。引き分けかな？とっていたところで引き技炸裂！歓声が上がりました。

副将戦：ここも相手は県個人チャンプ。(凄いチームだ) 前半、応じメン、仕掛けコテ、コテメン、出コテ、返しドウと多彩かつ機会良く技を繰り出し、猛然と取り返しに来る相手も一進一退です。頑張っている。

しかし、間合いに変化をつけて翻弄してくる相手に歩が悪くなりかけ足を止めて防御に走ったところでコテをもらう。二本目は思い切ってメンに出ました。が出頭メンに乗られました。同点だが本数で不利状況に。

大将戦：「さあ、勝負！」とばかりに先を掛けて挑むと仕掛けメン炸裂！（場内大歓声）二本目！「なんとか守りたい」という気持ちと「逃げちゃいけない」という気持ちとが交錯して取り返しに来る猛攻を掛ける相手と混戦状態の中、仕掛けるところコテをもらう。今度は相手が本数リード！

こちらがパワーアタックに転じるが相手は引いて守る。

延長2分

逃げる相手に反則一回。

タイミング良くメンに出るも届かず…。逆に場外反則。

最後は時間終了の笛が鳴り…。

あのトップクラスを追い詰めた心意気。あの歓声と響めき…興奮と静さ…。結果は一步及ばず・・・しかし、凄くドラマチックな時間を応援に来てくれた保護者や卒業生の先輩方そして仲間達と共有体感することが出来ました。

「悔しい…あれもこれもみんな悔しい…ああすれば良かった…こうすれば良かった…」それでも、これはみんなで戦った正真正銘の小金高校の結果です。

後輩たちにも是非

「一流チームに互角に渡り合える小金」

これを当たり前にしてもらいたい。

そして「何れは勝ちきる小金」(世間に通用する)を披露してもらいたい。

直接的間接的に私たちに応援支援してくれた多くの皆様に感謝いたします。

嬉しい言葉を沢山いただきました。

「ありがとうございました」

そして「A先生、私たち何点もらえますかね？」

## **2011. 6. 13 「最後の練習試合」**

## **2011. 6. 10 「大会写真」と「生徒コメント」**

6月11日(土) 八千代松陰高校

6月12日（日）我孫子高校、東葛飾高校、柏の葉高校  
おそらく、「高校生活最後の練習試合」に臨みました。

一日目

「苦しい展開でした」

10試合をほぼ勝ちと引き分けで進みながらも最後の最後に負けてしまいました。  
自分の対応力に行きづまったかたちです。

二日目

先鋒の選手がこの二日間に確実に進化を遂げている・・・  
先生の「先鋒の試合にヒントをもらえないか？」



この言葉で逆に「自分の試合」に迷いが生じてしまいました。

先生の「ひょっとしたら人生最後の練習試合だぞ」  
との声を背中に請けて臨みました・・・勝たせていただいたもののイメージとはかけ離れています。そしてポイントゲッターという立場の重みを感じた一日だった気がします。  
最後に合同稽古（地稽古）で終了しました。

HN先生の挨拶

「自分の高校3年の関東予選～インハイ予選までのこと、これでいいの？と、振り返ったこと、インハイ予選で当時の優勝校との戦いで出せた面が、「もっと剣道をやりたい！」と、今に至っていること等、だから皆の気持ちもわかるし、乗り越え出せた喜びもわかる、あと1週間、積み重ねて頑張ってください」と話をいただきました。いよいよカウントダウンです。

小金高校剣道部は、昭和47年に着任された早川公平先生が道場名を「昇竜館」と

命名し稽古の充実を計った。それ以降も齋藤先生、秋谷先生と専門家の先生を迎えて基本に沿った剣風を引き継いでいる。

<活動時間> (朝練は基本的になし。試合期は30分延長される日があります)

月・火・木・金 16:15～18:00 水 (7時間授業) 17:00～18:00  
土 9:00～12:00 日 試合期には出稽古、練習試合

<部員状況>

3年男子：1名 (栗ヶ沢)、女子：5名 (松戸四、松戸二、根木内、柏、富勢)

2年男子：3名 (流山東部、南流山)、女子：3名 (新松戸南、湖北)

1年男子：3名 (新松戸南)、豊四季)、女子3名 (光が丘、豊四季、鎌ヶ谷)

<今年度の成績>

男子団体：関東予選千葉県11地区予選会 第4位

全国予選千葉県11地区予選会 第4位 (県大会出場)

女子団体：関東予選千葉県11地区予選会 第1位 (流山高校が県4シードで予選免除)

県大会1回戦敗退 (1 - 2 成田国際)

全国大会千葉県11地区予選会 第1位 (流山高校が県4シードで予選免除)

◆4/14関東予選地区大会の時の勝負強さと勢いが4/29北部大会、5/18県大会の初戦敗退から動揺と不安を生じさせたが中間審査期間の自主調整で見事に復活させてきた。ポジションごとがその状況を受け入れて自分らしく戦うことでチームとして堅実な結果に結びつけた。

女子個人：全国大会千葉県11地区予選会

<ベスト8：松戸二中、松戸警察道場 出身>

◆優勝者を相手に序盤の引きメン以外は危ない場面もなくメン技を駆使して惜しい展開。引きメンで旗を一本上げるなど善戦敢闘するも、延長にて惜敗する。

<ベスト16：根木内中、小金原正剣会 出身>

◆軽快な足捌きから体格に似合わないほど力強い技を繰り出し、気持ちに繋がりのある試合を展開した。

### <生徒からのコメント>

県大会では慌てていた気がしました。

凄く悔しくて帰宅後に道場に稽古に行きました。

中間審査学習期間なので稽古がありませんが先生に地稽古だけでもつけてもらおうお願いすると『君はリフレッシュしましょう』と言われました。

同期生が朝稽古つけてもらっているし、後輩は夕方に…少し焦りましたが…。勉強の合間に剣道が気になると自分らしさを整理しました。

個人試合は結果的に予選敗退ですが積極的且つ冷静な戦いことができました。不安との戦いや

自分との向かい合いが力になった気がします。